



戦地にいる兵士とその家族をはじめとした銃後の人々をつなぐ軍事郵便制度は、日清戦争時の1894年に始まりアジア太平洋戦争後の1946年まで続きました。この制度によって届けられた戦地からの手紙は、検閲されてはいるものの、戦中当時の体験を現在に伝える貴重な資料です。

写真は未使用の軍事郵便はがきで、絵には「占領地区明瞭」の題がついています。

この絵はがきは、元米陸軍兵が米国で長年保管していたものです。元米陸軍兵の家族から複数の人を経て、最終的に沖縄県在住の小浜さんが預かっていました。旧北谷村住民宛のはがきが複数あったことから、当館に問い合わせがあり、ご家族の元へお渡しするご協力をさせていただきました。

小浜さんが預かっている軍事郵便物や写真・地図等83点の資料は、当館へ複写データをご寄贈いただきました。

公文書館では北谷に関する資料を収集しています。資料の種類や新旧に関わらず、ご寄贈や情報提供などのご協力をお願いします。

